

平成29年度厚生労働科学研究費補助金
(政策科学総合研究事業(臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業))
分担研究報告書

SS-MIX2データ抽出システム実装とテスト及びアウトカムテンプレート仕様検討

研究分担者 的場 哲哉 九州大学病院・循環器内科・講師

研究要旨

本研究は電子カルテSS-MIX2ストレージに格納された多モダリティの臨床データを一括抽出するデータ登録システムの多施設における実装を目的とし、MCDRSを応用した冠動脈疾患患者の検体検査、処方、心臓カテーテル検査レポート、冠動脈インターベンションレポートデータの半自動登録システムを実装し、さらに心血管病アウトカムを補足する症例登録フォームテンプレートを開発している。

A. 研究目的

電子カルテSS-MIX2ストレージに格納された多モダリティの臨床データを一括抽出するデータ登録システムの実装、および心血管病アウトカムを補足する症例登録フォームテンプレートシステムの開発

B. 研究方法

1. MCDRSを応用した冠動脈疾患患者の多モダリティ臨床データ(検体検査、処方、心臓カテーテル検査レポート)の半自動登録システムを実装する。
2. 心血管病アウトカムを補足する症例登録フォームテンプレートで登録するデータ項目を選定し、SS-MIX2へのデータ登録仕様を決定し、電子カルテシステムのテンプレートシステムとして実装する。

(倫理面への配慮)

研究施設において臨床研究倫理審査を受けた。登録する症例データは匿名化される。

C. 研究結果

1. MCDRSを応用した冠動脈疾患患者の多モダリティ臨床データ(検体検査、処方、心臓カテーテル検査レポート)の半自動登録システムを実装し、取得されたデータと原本の同一性を検討した(論文投稿中)。
2. 心血管病アウトカムを補足する症例登録フォームテンプレートで登録するデータ項目を選定し、SS-MIX2へのデータ登録仕様を決定した。電子カルテシステムのテンプレートシステムとして実装している。

D. 考察

冠動脈疾患患者の多モダリティ臨床データ(検体検査、処方、心臓カテーテル検査レポート)の単一システムによる一括収集は、現在市場にあるシステムでは実現されておらず、重要な進歩である。登録

型臨床研究の質の向上、多施設共同研究の推進に寄与することが期待される。

E. 結論

平成30年度はデータ収集システムの開発に進捗が得られた。また、心血管病アウトカム登録システムを開発中である。

G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表
日本循環器学会総会(平成30年3月25日、大阪)
「臨床効果データベース事業・ImPACT 研究におけるデータ収集の現状」

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし